

みなさん、GWはどのように過ごされましたか？気候もよく、ガーデニングに精を出された方もいらっしゃるのではないのでしょうか？私は毎年GWには、ベランダに置いてあるプランターに野菜の苗を植えます。収穫の時期がとても楽しみです。

■この春は、新たな気持ちで新しいことにチャレンジしてみませんか？

日に日に心地よい風を感じるこの時期、何か新しいことを始めたくありませんか？当センターでは、手話通訳者・要約筆記者、盲ろう者通訳・介助員の養成や派遣をセンター事業の一環として行っています。ぜひ、この春思い切ってチャレンジしてみませんか？

●2019年度三重県手話通訳者養成講座

手話通訳とは、日本語（音声言語）を手話に置き換えたり、手話を日本語に置き換えることで、聞こえない方と聞こえる方の、お互いの意思疎通支援を行います。県及び各市町には、手話通訳者の派遣事業があり、その事業の担い手である手話通訳者を養成するのが、この講座です。

●対象者：以下の条件を全て満たすことができる者とする。なお、実施主体が行なう他の講座を受講中の者は、当講座との重複受講は不可とする。

- ①手話を駆使して特定の聴覚障がい者と日常会話が可能であること。
- ②全日程70%以上出席できること。
- ③18歳以上で地域の手話サークル等で現在も含めて、3年以上手話を学んでいること。
- ④講座終了後に県や市町の登録通訳者として活動する意志があること。
- ⑤聴覚障がい者団体および手話関係者団体の活動等、聴覚障がい者との交流や情報交換の場に積極的に参加する意欲があること。

※面接により受講可否を決定【面接日…5/26（日）午後】

※詳細は当センターのホームページから「案内用紙」をごらんください。

応募締め切りは5月15日（水）です。※当日消印有効



●2019年度三重県盲ろう者通訳・介助員養成講座

「他者とのコミュニケーションが困難」「外出（移動）が困難」「情報入手が困難」という3つの困難を抱える盲ろう者を支援するのが、盲ろう者通訳・介助員です。この講座では、盲ろう者についての知識やよりよい介助方法をはじめコミュニケーション技術等、盲ろう者の多様なニーズに応えることのできる知識並びに技術等を学びます。

■対象者：以下の条件を満たす方

- ①県内在住の18歳以上の方
- ②全日程の80%以上の講座に出席できる方
- ③講座終了後に、県の登録者として、盲ろう者通訳・介助員として活動できる方
- ④次のいずれかができる方
 - (1)手話で会話ができる方
 - (2)要約筆記奉仕員(者)のパソコンコースを修了した方
 - (3)点字の読み書きができる方

※詳細は当センターのホームページから「案内用紙」をごらんください。

応募締め切りは5月28日（火）必着です。

■今年のセンターまつりは伊勢市で12月1日（日）に開催します！



今年のセンターまつりは、伊勢市で12月1日（日）に行います。毎年、津で開催していましたが、今回は県南地域で開催することで、多くの人々に、聴覚障害や支援方法、困ることについて知って頂く機会となればと・・・。

詳細はまた、次号でお知らせしますので、お楽しみに！

字幕映像ライブラリー NEWS

当センターにはTV番組や映画の映像作品だけではなく、三重県
の特色ある独自の番組や映像も聞こえない人に見てほしい、楽しん
でほしいと、2015年から(株)ZTV・鳥羽水族館が企画・制作し
た番組を好意でいただき、字幕付与作業も行っているんですよ～。

今回はその中で、おすすめの作品をご紹介します！

「借りたいけど、なかなかセンターに行くヒマがない～」とお嘆
きのアナタ、大丈夫です。郵送で貸出や返却ができるんです。詳し
くは当センターホームページで！



■字幕映像ライブラリー 今回のイチオシ作品 はこれです！ 『鳥羽水族館のTV番組「もっと！水の惑星紀行」』シリーズ



『鳥羽水族館 60年の歴史と舞台裏』

全国にある水族館の中でも古いとされる鳥羽水族館。

鳥羽水族館の前身は、ナント！魚の卸問屋！

1955年5月15日に開館した当初は、海岸をしきった「天然プール」
でアシカなどを飼育していました。

その後、さまざまな設備がととのい、生きものたちが増えていきます。
1984年には、日本初のラッコの赤ちゃん誕生、1990年には新しく現
在の水族館が完成。ますます、水族館はにぎやかになり、今に至りま
す。当時の写真や映像を交えて紹介します。

『おかしな！お菓子な生きものたち』

2017年5月に伊勢市で開催された「全国菓子大博覧会」。

今回はそのお菓子にちなんだ生きものたちの紹介です。

和菓子、洋菓子、もりだくさん！

見たことのない生きものたちに驚きます。

そして鳥羽水族館だけではなく、

志摩マリンランドの生きものも登場します。

お、おいしそうなものが水槽に…

食べられませんよー。



『生きものを持ち方・運び方』

まずは、田んぼに棲む生きものたちを捕まえて・・・

上手に持つ方法について分かりやすく解説してくれます。

その後はいつもの水族館へ。

危険な生きものについては、

十分気をつけなければなりません。

生きもののことをよくわかっている

飼育員さんだからこそそのワザが見られますよ。